学校番号	J1002

令和８年度　技術科

学年	1	週授業コマ数	1	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	35
使用教科書	「テクノロジーに希望をのせて（技術分野）」　（開隆堂）						
副教材等	技術・家庭ノート　技術分野　（正進社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

よりよい生活を送るために、生活に必要な基礎的な知識や技術を理解し、実際の生活の中でいろいろな問題を解決する方法を学習します。

実践的・体験的な活動として実習をおこないますので、注意事項をよく聞いて、安全第一を心がけて作業をしていきましょう。

2　学習の到達目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。

（２）生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。

（３）よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に着け、技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解している。	生活や社会のなかから技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td>1学期</td><td rowspan="2">A
材料と加工の技術</td><td rowspan="2">●技術分野のガイダンス
●材料と加工の技術の基礎･基本を学ぼう
･材料の特性と利用するための技術
･製図
●基礎･基本を生かして問題を解決しよう
･製品の設計
･製品の製作
･材料に適した加工方法
●これからの材料と加工の技術を考えよう
･材料と加工の技術の評価･活用</td><td rowspan="3">a:　材料と加工に関する基礎的な仕組み及び技術を理解し、身につけている。
b: 材料と加工に関して適切な設計を行い、自らの思考を表現することができる。
c:　材料と加工の技術について考え、課題解決に向けて実践的に、また主体的に取り組もうとする。</td><td>・ノート
・提出物
・作品・技能
・定期考査</td><td>・行動観察
・ノート
・提出物
・作品・技能
・定期考査
・振り返り</td><td>・行動観察
・作品
・ノート
・振り返り・自己評価</td></tr>
<tr><td>2学期</td><td>・ノート
・提出物
・作品・技能
・定期考査</td><td>・行動観察
・ノート
・提出物
・作品・技能
・定期考査
・振り返り</td><td>・行動観察
・作品
・ノート
・振り返り・自己評価</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3学期</td><td rowspan="2">A
材料と加工の技術</td><td rowspan="2">●技術分野のガイダンス
●材料と加工の技術の基礎･基本を学ぼう
･材料の特性と利用するための技術
･製図
●基礎･基本を生かして問題を解決しよう
･製品の設計
･製品の製作
･材料に適した加工方法
●これからの材料と加工の技術を考えよう
･材料と加工の技術の評価･活用</td><td>・ノート
・提出物
・作品・技能
・定期考査</td><td>・行動観察
・ノート
・提出物
・作品・技能
・定期考査
・振り返り</td><td>・行動観察
・作品
・ノート
・振り返り・自己評価</td></tr>
<tr><td>・ノート
・提出物
・作品・技能
・定期考査</td><td>・行動観察
・ノート
・提出物
・作品・技能
・定期考査
・振り返り</td><td>・行動観察
・作品
・ノート
・振り返り・自己評価</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	J1002

令和８年度　技術科

学年	2	週授業コマ数	1	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	35
使用教科書	「テクノロジーに希望をのせて（技術分野）」　（開隆堂）						
副教材等	技術・家庭総合ノート　技術分野　（明治図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

よりよい生活を送るために、生活に必要な基礎的な知識や技術を理解し、実際の生活の中でいろいろな問題を解決する方法を学習します。

実践的・体験的な活動として実習をおこないますので、注意事項をよく聞いて、安全第一を心がけて作業をしていきましょう。

2　学習の到達目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。

（２）生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。

（３）よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に着け、技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解している。	生活や社会のなかから技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期 2学期	C エネルギー変換の技術	●エネルギー変換の技術の利用 ・技術の原理・法則と仕組みと利用 ●エネルギー変換の技術による問題解決 ・製品の設計・製作 ●これからのエネルギー変換の技術 ・エネルギー変換の技術の評価・活用	a: エネルギー変換の技術について科学的な原理・法則や基礎的な知識・技術を身に付けている。 b: エネルギー変換の技術に関して適切な設計を行うことができる。 c: エネルギー変換の技術について考え、課題解決に向けて実践的に、また主体的に取り組もうとする。	・ノート ・提出物 ・作品・技能 ・定期考査	・行動観察 ・ノート ・提出物 ・作品・技能 ・定期考査 ・振り返り	・行動観察 ・作品 ・ノート ・振り返り・自己評価
	D 情報の技術	●情報の技術の原理・法則と仕組み ・情報の技術とデジタル化 ●計測・制御のプログラミングによる問題解決	a: 情報の技術について基礎的な知識・技術を身につけている b: 情報の技術を適切に選択し、実践を評価・改善し課題を解決する力を身に付けている。 c: 情報の技術について考え、課題解決に向けて主体的に取り組もうとする。	・ノート ・提出物 ・作品・技能 ・定期考査	・行動観察 ・ノート ・提出物 ・作品・技能 ・定期考査 ・振り返り	・行動観察 ・作品 ・ノート ・振り返り・自己評価
	C エネルギー変換の技術	●エネルギー変換の技術の利用 ・技術の原理・法則と仕組みと利用 ●エネルギー変換の技術による問題解決 ・製品の設計・製作 ●これからのエネルギー変換の技術 ・エネルギー変換の技術の評価・活用	a: エネルギー変換の技術について科学的な原理・法則や基礎的な知識・技術を身に付けている。 b: エネルギー変換の技術に関して適切な設計を行うことができる。 c: エネルギー変換の技術について考え、課題解決に向けて実践的に、また主体的に取り組もうとする。	・ノート ・提出物 ・作品・技能 ・定期考査	・行動観察 ・ノート ・提出物 ・作品・技能 ・定期考査 ・振り返り	・行動観察 ・作品 ・ノート ・振り返り・自己評価
3学期	D 情報の技術	●情報の技術の原理・法則と仕組み ・情報の技術とデジタル化 ●計測・制御のプログラミングによる問題解決	a: 情報の技術について基礎的な知識・技術を身につけている b: 情報の技術を適切に選択し、実践を評価・改善し課題を解決する力を身に付けている。 c: 情報の技術について考え、課題解決に向けて主体的に取り組もうとする。	・ノート ・提出物 ・作品・技能 ・定期考査	・行動観察 ・ノート ・提出物 ・作品・技能 ・定期考査 ・振り返り	・行動観察 ・作品 ・ノート ・振り返り・自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	J1002

令和８年度　技術科

学年	3	週授業コマ数	1	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	18
使用教科書	「新しい技術・家庭（技術分野）」　（東京書籍）						
副教材等	技術・家庭ノート　技術分野　（正進社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

よりよい生活を送るために、生活に必要な基礎的な知識や技術を理解し、実際の生活の中でいろいろな問題を解決する方法を学習します。
実践的・体験的な活動として実習をおこないますので、注意事項をよく聞いて、安全第一を心がけて作業をしましょう。

2　学習の到達目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
（２）生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
（３）よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に着け、技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解している。	生活や社会のなかから技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	B 生物育成の技術	●生物育成の技術の原理・法則と仕組み ・生物育成の技術と工夫 ●生物育成の技術による問題解決 ・作物の育成計画と育成 ●社会の発展と生物育成の技術 ・生物の育成の評価・活用	a:生物育成の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組みを理解している。 b:より良い生活の構築を目指して、生物育成の技術を適切に選択し、計画や育成することができる。 c:生物育成の技術について考え、課題解決に向けて実践的に、また主体的に取り組もうとする。	・ノート ・提出物 ・技能 ・定期考査	・行動観察 ・ノート ・提出物 ・技能 ・定期考査 ・振り返り	・行動観察 ・ノート ・振り返り ・自己評価
1学期 2学期	D 情報の技術	●情報の技術の原理・法則と仕組み ・情報モラル・情報セキュリティ ●双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 ●計測・制御のプログラミングによる問題解決 ●社会の発展と情報の技術 ・情報の技術の評価・活用	a: 情報の技術について基礎的な知識・技術を身につけている。 b: 情報の技術を適切に選択し、実践を評価・改善し課題を解決する力を身に付けている。 c: 情報の技術について考え、課題解決に向けて主体的に取り組もうとする。	・ノート ・提出物 ・作品・技能 ・定期考査	・行動観察 ・ノート ・提出物 ・作品・技能 ・定期考査 ・振り返り	・行動観察 ・作品 ・ノート ・振り返り ・自己評価
		※後期は家庭科				
3学期						

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度